

校内研究全体会を行いました

令和6年度 校内研究全体会

各教科の見方・考え方を働かせた授業づくり

研修部

重点目標

(2) 各教科等の「見方・考え方」を確認し、学習の過程を重視して授業を改善することで、各教科等の特質を踏まえた授業実践を行えるようにする。

研究テーマ

各教科の見方・考え方を働かせた授業づくり（2年次計画）

研究内容

1年次 「教科の見方・考え方の理解」

○単元展開案を活用し、見方・考え方を働かせるための意図的な仕掛けや場面設定の検討

2年次 「教科の見方・考え方の授業実践」

○授業実践での検証
○2年分の展開案の収集、管理

目指す児童生徒の姿

困難な場面に直面したとき、
習得した知識や考え方を発揮しながら、
自分なりに問題を解決しよう

とする力を育てる



4月30日（火）に校内研究全体会を行いました。本研究は2年次計画で、本年度は2年次となります。

本年度は、1年次の成果と課題をもとに、各研究グループに分かれて、授業実践での検証を行います。その際に、『考える視点を明確にした目標の提示』や『意図的働きかけの工夫』、『目標に沿った振り返り』の3つを軸に授業検討を進めることで、児童生徒が見方・考え方を働かせながら学ぶ授業づくりについて研究いたします。

授業検証のポイント

- ①「**目標**」を意識して児童生徒は学んでいたか
- ②そのための**意図的働きかけは有効**だったか（資料・発問・交流場面等）
- ③**目標を意識した振り返り**はできていたか

本研究を通して、日々の授業の中で児童生徒が身に付けた知識・技能を活用したり、思考力・判断力・表現力や学びに向かう力等を発揮させたりしながら学習する場面が充実することで、児童生徒が困難な場面に直面した時に習得した各教科の見方・考え方を自在に働かせて問題解決しようとする、生きる力の育成を目指して参ります。

